

第10回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず＜企画シート作成上の注意＞をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナル名（フリガナ）
ソウエイ 伊代	オノガクガクワ	マツタニゼミ
相愛大学	音楽学部	松谷ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
ネクサス	オミアリ	4名
ネクサス	大海愛里	

研究テーマ（発表タイトル）

“託児所×コワーキングスペース”でつくる子どもの未来

1. 研究概要（目的・狙いなど）

「多様な音楽を楽しむ人が増えて欲しい」という私たちのミッション達成のためには、子供の頃の体験が重要なのではないか？と考えた。子どもの頃の体験を充実させることは、夫婦共働きの家庭では特に難しく、子育てと仕事の両立に課題があることが分かった。そこで、子育てと仕事を両立させ音楽を楽しむ時間や心の余裕の生まれる環境を作ることが今回の目的だ。

その目的を果たすために今回は、子どもを預かってもらえる託児所と仕事が出来るコワーキングスペースを組み合わせたオリジナルのプランを提供する。

この場所を実現させ育児と仕事の両立を可能にし、さらに音楽をはじめとする様々なアートに興味関心の持てる子どもを増やし、自分で考えて行動できる子どもを育てる。その結果、よりよい社会が実現する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

ヒアリング調査より

- 子育てと仕事の両立についてー子育てと仕事の両立の推進されている株式会社 小鳥遊の才野さんにお話を伺いし、子育てと仕事の両立についてまだまだ壁があることや、男性が育児に参加しにくいことが分かった。
- コワーキングスペースについてー本町にあるコワーキングスペース THE DECK の青山さんと梅田のグランフロント大阪内にあるナレッジサロンでマネージャーをされている岡部さんにお話を伺いした。現在、コワーキングスペースは増加傾向にあり、その背景にはフリーランスとして働く人の増加と、企業が働き方改革により新しい働き方を推進させており、テレワークの際に活用されていることがある。
- 子供の現状についてー西宮フレンテホールの副館長で、様々な子ども向けイベントを企画されている衣川さんにお話をうかがった。イギリスのアーツカウンシルの調査より子どものうちから、アートや文化に触れることで、子どもの学力が向上することが報告されているということ。今現在、子ども向けイベントは、とても必要とされているということを教えていただいた。子ども向けイベントが必要とされる理由として、赤ちゃんを連れて行ける場所が少ないとや、地域関係が気薄になっているためコミュニケーションの場として利用されているそうだ。

3. 研究テーマの課題

●仕事と子育ての両立の問題点

- ①働き方改革に見合った形として子どもを預けられる場所が少ないとこと
- ②日本の母親は諸外国と比べて育児に費やす時間が多いという現状があり、夫婦共働きは難しく、更に夫の育児参加も難しくなること
- ③その様な世の中が日本の中ではまだまだ普通であることから、社会的に母親が働くことに対して「子育てを手抜きすること」と考えられたりするため、母親自身も「子どものためによくないのではないか」と考えてしまい、働くことに対してためらいを感じてしまうこと

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

託児所×コワーキングスペース

現状、働きながら子育てを行うには多くの障壁があり、それらを解消するために、親と子の双方が気持ちよくいられる場所が必要だと考えた。

今回、これらの課題を解決するために、私たちは、託児所にコワーキングスペースを組み込んだプランを提案する。
更に、この託児所では、子供に私たちが考える独自の学びを提供する。

コワーキングスペースとは

働き方改革が推進される中で、活用されている共有型のオフィススペース。

人口が減少し、これまでの働き方の見直しが必要となっている。

さらに、時代が変化していくうねりの中で、幸せの価値観も人それぞれで、自分にとっての幸せを見つけ互いに尊重しあえる社会にするために、子供が多様な経験のできる場所が必要だと考えた。

そのために、今回は、子どもの主体性を育み、自ら課題を考え行動できる人を増やしたいと考えた。

それを実現するために、以下、3点の柱を軸に教育理念を設けた。

●教育理念の軸

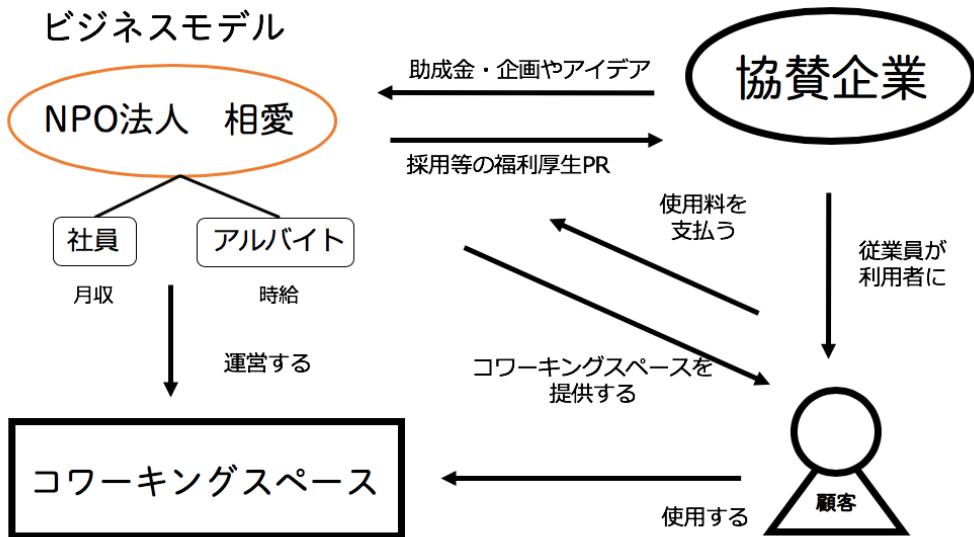
- 1 多角的なモノの見方ができる
- 2 価値を自分で“探す遊び”ができる
- 3 なぜコレをするのか自分で考えて行動できる

教育を学力の向上とは捉えずに、一人一人の個性と向き合い、子どもたちが伸び伸びと過ごせる空間を目指す。

質の高い教育のために、専門的な知識を持った人材が必要になる。託児所のスタッフは勿論、コワーキングスペースでも、子供の可能性を引き伸ばせる人材を集めたいと考えている。

その為に、運営団体をNPO法人として、組織化させ、運営者に安定した収入を担保する。

定期的に、外部から様々なゲストを招いたイベントの企画も行い、多様な価値観に触れて成長できる場を実現させたい。



【左図：ビジネスモデル】

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

●ヒアリング調査

- ・西宮フレンテホール副館長の衣川様より 子供向けイベントについて（2019年8月5日）
- ・小鳥遊 才野様より 仕事と子育ての両立について（2019年10月15日）
- ・the DECK 青山様より コワーキングスペースの運営について（2019年10月17日）
- ・ナレッジサロン 岡部様より コワーキングスペースの運営について（2019年10月24日）

●働きながら育児を行う方 21名へのアンケート調査（2019年11月5日）

6. 結果や今後の取り組み

アンケート調査により、実際に働きながら育児を行う方の90.5%がこのような場所ができたら利用したいと回答してくださった。現在、働き手となる子供を預かるスキルのある人材の確保について検討中であり、他にも運営に課題点はあるものの、社会に大きな影響を与えるられるプランだと考えているので、企画をブラッシュアップさせ、今後、各企業に提案し、実現化を目指す。

7. 参考文献

- ・ NPO 法人 CANVAS <http://canvas.ws/> （閲覧日：2019年8月19日）
- ・ NPO 法人キッズバレイ <http://kids-valley.org/> （閲覧日：2019年8月21日）
- ・ こどもまなび☆ラボ <https://kodomo-manabi-labo.net/category/art/art-art> （閲覧日：2019年8月21日）
- ・ 幼稚園と保育園の違い 保育園経営を助ける FC/コンサルまとめ <http://www.nurserymgfcconsul.net/guide/difference.html> （閲覧日：2019年8月19日）
- ・ ファストウェイ NPO（法人）って何なの？ <http://www.fastway.jp/what/1-2> （閲覧日：2019年8月19日）
- ・ 文部科学省 (2017) 「子供たちの未来を育む豊かな体験活動の充実」 http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab201701/detail/1398111.htm （閲覧日：2019年8月26日）
- ・ 総務省 (2017) 「平成29年版情報通信白書 期待される労働市場の底上げ」 <http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc135230.html> （閲覧日：2019年8月26日）
- ・ Intage 知る Gallery(2019)「【わかりやすい】『働き方改革』とは。変わるもの5つのこと、目的・概要まとめ」 <https://www.intage.co.jp/gallery/hatarakikatakaikaku> （閲覧日：2019年8月26日）
- ・ TIME&SPACE(2019)「子供には何歳からスマホ？学年別 iPhoneとキッズケータの所有率や特徴など解説」 <https://time-space.kddi.com/mobile/20190405/2626> （閲覧日：2019年8月26日）
- ・ 学研教育総合研究所白書シリーズ Web 版(2018)「小学生の日常生活・学習・自由研究等に関する調査」 <https://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201809/chapter6/01.html> （閲覧日：2019年8月26日）
- ・ LIG(2014)「初めてのコワーキングスペース利用の前に知っておきたいメリット・デメリット 8選」<https://liginc.co.jp/life/useful-info/114631> （閲覧日：2019年8月26日）

日：2019年8月26日)

- ・PreBell(2018)「コワーキングスペースって何するところ？知っているようで知らないその実態」
- ・https://prebell.so-net.ne.jp/news/pre_18112701.html（閲覧日：2019年8月26日）
- ・倍増するコワーキングスペース。上半期で2倍と成長、20兆円を超えるフリーランス経済規模が後押し（閲覧日：2018年7月5日）
- ・女性フリーランスが仕事と子育てを両立させるためのポイントと支援制度 2018年2月19日 <https://cool-worker.com/354.html>（閲覧日10月15日）
- ・フリーランス人口は1,119万人、経済規模は約20兆円超え！企業に頼らず生きる新しい時代の到来 2018年4月5日 <https://amp.review/2018/04/05/freelance-research/>（閲覧日：10月15日）
- ・CBREが特別レポート「コワーキングオフィス－新たな働き方のプラットフォーム」を発表 2018年9月27日
- ・<https://www.cbre.co.jp/ja-jp/about/media-centre/japan-coworking-report-sep-2018>
- ・閲覧日10月15日
- ・fabbit 「全国展開のコワーキングスペース」
- ・https://fabbit.co.jp/search/?location=%E9%96%A2%E8%A5%BF&space=&wovn=ja/?utm_source=google&utm_medium=cpc&utm_campaign=osaka&gclid=EAIIQobChMImoO86--J5QIVimkqCh1T5QH7EAAYAyAAEgKz5vD_BwE（閲覧日 2019年10月7日）
- ・五番地(2018)「大阪市内のおすすめコワーキングスペース21ヶ所」 <https://gobanchi.com/2018>
- ・T-KIDS シェアスクール <https://tkids.tsuite.jp/>（閲覧日 2019年10月7日）

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物（例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

【企画シート作成上の注意】※「第10回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑